

令和 7 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

長野市監査委員

8 監査第38号
令和 8 年 8 月 31 日

長野市各財産区
長野市長 荻 原 健 司 様

長野市監査委員	下 平 嗣
同	川 上 馨
同	寺 沢 さゆり
同	北 沢 哲 也

令和 7 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	7
第 2	審査の対象	7
第 3	審査の着眼点	7
第 4	審査の実施内容	7
第 5	審査の結果	8
1	決算の概要	8
2	意 見	8
	松代財産区特別会計	9
	豊栄財産区特別会計	11
	西寺尾本郷財産区特別会計	13
	今井財産区特別会計	15
	信級財産区特別会計	17

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和 7 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づいた決算審査で、令和 8 年 6 月 30 日から 8 月 24 日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第 2 審査の対象

1 令和 7 年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の計数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第 4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概要

(単位 円)

財産区 \ 区分	収入済額	支出済額	差引残額
松 代 財 産 区	2,353,547	983,780	1,369,767
豊 栄 財 産 区	302,534	11,600	290,934
西 寺 尾 本 郷 財 産 区	609,279	308,772	300,507
今 井 財 産 区	425,951	316,940	109,011
信 級 財 産 区	207,680	59,010	148,670
合 計	3,898,991	1,680,102	2,218,889

2 意 見

財産区の公有財産である山林及び畑地等について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努め、持続的な運営を図られたい。

なお、豊栄財産区については、今後、主たる財源である繰越金の減少が見込まれることから、今後の方針について十分検討されたい。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,353,547 円に対する歳出決算額は 983,780 円で、歳入歳出差引残額 1,369,767 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	896,000	883,561	883,561	0	0	98.6	100.0
繰越金	844,000	1,467,294	1,467,294	0	0	173.9	100.0
繰入金	0	0	0	0	0	—	—
諸収入	2,000	2,692	2,692	0	0	134.6	100.0
合 計	1,742,000	2,353,547	2,353,547	0	0	135.1	100.0
6 年度	1,680,000	2,014,004	2,014,004	0	0	119.9	100.0
比較増減	62,000	339,543	339,543	0	0	15.2 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	103.7	116.9	116.9	—	—	—	—

収入済額は 2,353,547 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 1,467,294 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,712,000	983,780	0	728,220	57.5
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	1,742,000	983,780	0	758,220	56.5
6 年度	1,680,000	546,710	0	1,133,290	32.5
比較増減	62,000	437,070	0	△375,070	24.0ポイント
前年度対比	103.7	179.9	—	66.9	—

支出済額は 983,780 円で、予算現額に対する執行率は 56.5%である。

支出済額は、全て総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	69,536	485	70,021	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,759,000	500,000	24,259,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 302,534 円に対する歳出決算額は 11,600 円で、歳入歳出差引残額 290,934 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	209,000	281,138	281,138	0	0	134.5	100.0
諸収入	2,000	557	557	0	0	27.9	100.0
合 計	231,000	302,534	302,534	0	0	131.0	100.0
6 年度	230,000	292,998	292,998	0	0	127.4	100.0
比較増減	1,000	9,536	9,536	0	0	3.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.4	103.3	103.3	—	—	—	—

収入済額は 302,534 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰越金 281,138 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	181,000	11,600	0	169,400	6.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	231,000	11,600	0	219,400	5.0
6 年度	230,000	11,860	0	218,140	5.2
比較増減	1,000	△260	0	1,260	△0.2ポイント
前年度対比	100.4	97.8	—	100.6	—

支出済額は 11,600 円で、予算現額に対する執行率は 5.0% である。

支出済額は、全て総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	20,136	46	20,182	—	—	—

西 寺 尾 本 郷 財 産 区 特 別 会 計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 609,279 円に対する歳出決算額は 308,772 円で、歳入歳出差引残額 300,507 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	49,000	52,252	52,252	0	0	106.6	100.0
繰越金	237,000	238,454	238,454	0	0	100.6	100.0
繰入金	318,000	318,000	318,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	573	573	0	0	28.7	100.0
合 計	606,000	609,279	609,279	0	0	100.5	100.0
6 年度	565,000	565,525	565,525	0	0	100.1	100.0
比較増減	41,000	43,754	43,754	0	0	0.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	107.3	107.7	107.7	—	—	—	—

収入済額は 609,279 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰入金 318,000 円及び繰越金 238,454 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	576,000	308,772	0	267,228	53.6
予 備 費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	606,000	308,772	0	297,228	51.0
6 年度	565,000	327,071	0	237,929	57.9
比較増減	41,000	△18,299	0	59,299	△6.9ポイント
前年度対比	107.3	94.4	—	124.9	—

支出済額は 308,772 円で、予算現額に対する執行率は 51.0%である。

支出済額は、全て総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野 (畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	3,610,000	△ 318,000	3,292,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 425,951 円に対する歳出決算額は 316,940 円で、歳入歳出差引残額 109,011 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	233,000	232,820	232,820	0	0	99.9	100.0
繰越金	80,000	92,844	92,844	0	0	116.1	100.0
繰入金	323,000	100,000	100,000	0	0	31.0	100.0
諸収入	2,000	287	287	0	0	14.4	100.0
合 計	638,000	425,951	425,951	0	0	66.8	100.0
6 年度	645,000	373,195	373,195	0	0	57.9	100.0
比較増減	△7,000	52,756	52,756	0	0	8.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	98.9	114.1	114.1	—	—	—	—

収入済額は 425,951 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 232,820 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	628,000	316,940	0	311,060	50.5
予 備 費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	638,000	316,940	0	321,060	49.7
6 年度	645,000	280,351	0	364,649	43.5
比較増減	△7,000	36,589	0	△43,589	6.2ポイント
前年度対比	98.9	113.1	—	88.0	—

支出済額は 316,940 円で、予算現額に対する執行率は 49.7% である。

支出済額は、全て総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	△ 162	730,424	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	15,488	△ 42	15,446	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,900,000	△ 100,000	4,800,000

信 級 財 産 区 特 別 会 計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 207,680 円に対する歳出決算額は 59,010 円で、歳入歳出差引残額 148,670 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	102,000	4,209	4,209	0	0	4.1	100.0
繰越金	202,000	203,069	203,069	0	0	100.5	100.0
諸収入	2,000	402	402	0	0	20.1	100.0
合 計	306,000	207,680	207,680	0	0	67.9	100.0
6 年度	565,000	602,906	602,906	0	0	106.7	100.0
比較増減	△259,000	△395,226	△395,226	0	0	△38.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	54.2	34.4	34.4	—	—	—	—

収入済額は 207,680 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、繰越金 203,069 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	286,000	59,010	0	226,990	20.6
予 備 費	20,000	0	0	20,000	0.0
合 計	306,000	59,010	0	246,990	19.3
6 年度	565,000	399,837	0	165,163	70.8
比較増減	△259,000	△340,827	0	81,827	△51.5ポイント
前年度対比	54.2	14.8	—	149.5	—

支出済額は 59,010 円で、予算現額に対する執行率は 19.3%である。

支出済額は、全て総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	9,503	105	9,608	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,989,000	0	1,989,000

令和 7 年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

8 監査第39号
令和 8 年 8 月 31 日

長野市東条財産区
長野市長 荻 原 健 司 様

長野市監査委員	下 平 嗣
同	川 上 馨
同	寺 沢 さゆり
同	北 沢 哲 也

令和 7 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	7
第 2	審査の対象	7
第 3	審査の着眼点	7
第 4	審査の実施内容	7
第 5	審査の結果	7
1	決算の概況	8
2	財産に関する調書	9
3	意 見	9

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和 7 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づいた決算審査で、令和 8 年 6 月 30 日から 8 月 24 日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第 2 審査の対象

1 令和 7 年度長野市東条財産区特別会計決算

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の計数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第 4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,204,419 円に対する歳出決算額は 1,128,919 円で、歳入歳出差引残額 75,500 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	21,000	25,495	25,495	0	0	121.4	100.0
繰越金	399,000	351,297	351,297	0	0	88.0	100.0
繰入金	826,000	826,000	826,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	1,627	1,627	0	0	81.4	100.0
合 計	1,248,000	1,204,419	1,204,419	0	0	96.5	100.0
6 年度	813,000	813,018	813,018	0	0	100.0	100.0
比較増減	435,000	391,401	391,401	0	0	△3.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	153.5	148.1	148.1	—	—	—	—

収入済額は 1,204,419 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、繰入金 826,000 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	1,146,000	1,056,919	0	89,081	92.2
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	1,248,000	1,128,919	0	119,081	90.5
6 年度	813,000	461,721	0	351,279	56.8
比較増減	435,000	667,198	0	△232,198	33.7ポイント
前年度対比	153.5	244.5	—	33.9	—

支出済額は 1,128,919 円で、予算現額に対する執行率は 90.5% である。

支出済額の主なものは、総務費 1,056,919 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	102,956	0	102,956	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	99,334	0	99,334	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	5,486	0	5,486	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	15,740,742	△ 826,000	14,914,742

3 意 見

財産区の公有財産である山林及び池沼等について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努め、持続的な運営を図られたい。

令和 7 年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

8 監査第40号
令和 8 年 8 月 31 日

長野市西条財産区
長野市長 荻 原 健 司 様

長野市監査委員	下 平 嗣
同	川 上 馨
同	寺 沢 さゆり
同	北 沢 哲 也

令和 7 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	7
第 2	審査の対象	7
第 3	審査の着眼点	7
第 4	審査の実施内容	7
第 5	審査の結果	7
1	決算の概況	8
2	財産に関する調書	9
3	意 見	9

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和 7 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づいた決算審査で、令和 8 年 6 月 30 日から 8 月 24 日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第 2 審査の対象

1 令和 7 年度長野市西条財産区特別会計決算

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の計数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第 4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 3,667,111 円に対する歳出決算額は 2,887,564 円で、歳入歳出差引残額 779,547 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,519,000	1,534,452	1,534,452	0	0	101.0	100.0
繰越金	789,000	819,706	819,706	0	0	103.9	100.0
繰入金	929,000	929,000	929,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	338,000	338,042	338,042	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	45,911	45,911	0	0	2,295.6	100.0
合 計	3,577,000	3,667,111	3,667,111	0	0	102.5	100.0
6 年度	3,400,000	3,452,136	3,452,136	0	0	101.5	100.0
比較増減	177,000	214,975	214,975	0	0	1.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	105.2	106.2	106.2	—	—	—	—

収入済額は 3,667,111 円で、調定額に対する収納率は 100.0%である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,534,452 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	348,000	337,800	0	10,200	97.1
総務費	2,180,000	2,048,965	0	131,035	94.0
林業費	602,000	264,799	0	337,201	44.0
林道費	412,000	236,000	0	176,000	57.3
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	3,577,000	2,887,564	0	689,436	80.7
6 年度	3,400,000	2,632,430	0	767,570	77.4
比較増減	177,000	255,134	0	△78,134	3.3ポイント
前年度対比	105.2	109.7	—	89.8	—

支出済額は 2,887,564 円で、予算現額に対する執行率は 80.7%である。

支出済額の主なものは、総務費 2,048,965 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立木 (m ³) (推定蓄積量)	84,048.63	△ 535.99	83,512.64	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	15,922,842	△ 930,118	14,992,724
債 権	0	1,500,000	1,500,000
合 計	15,922,842	569,882	16,492,724

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、引き続き適切に管理するとともに木材の売払いを継続し、持続的に活動されたい。

令和 7 年 度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決 算 審 査 意 見 書

長野市監査委員

8 監査第41号
令和 8 年 8 月 31 日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 荻 原 健 司 様

長野市監査委員	下 平 嗣
同	川 上 馨
同	寺 沢 さゆり
同	北 沢 哲 也

令和 7 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	7
第 2	審査の対象	7
第 3	審査の着眼点	7
第 4	審査の実施内容	7
第 5	審査の結果	7
1	決算の概況	8
2	財産に関する調書	9
3	意 見	9

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和 7 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づいた決算審査で、令和 8 年 6 月 30 日から 8 月 24 日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第 2 審査の対象

1 令和 7 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の計数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第 4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見については以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 5,783,328 円に対する歳出決算額は 5,427,463 円で、歳入歳出差引残額 355,865 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,511,000	5,579,997	5,579,997	0	0	101.3	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	200,000	200,004	200,004	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	3,327	3,327	0	0	166.4	100.0
合 計	5,714,000	5,783,328	5,783,328	0	0	101.2	100.0
6 年度	5,993,000	5,999,190	5,999,190	0	0	100.1	100.0
比較増減	△279,000	△215,862	△215,862	0	0	1.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	95.3	96.4	96.4	—	—	—	—

収入済額は 5,783,328 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,579,997 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	197,000	174,800	0	22,200	88.7
総務費	5,467,000	5,252,663	0	214,337	96.1
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	5,714,000	5,427,463	0	286,537	95.0
6 年度	5,993,000	5,799,186	0	193,814	96.8
比較増減	△279,000	△371,723	0	92,723	△1.8ポイント
前年度対比	95.3	93.6	—	147.8	—

支出済額は 5,427,463 円で、予算現額に対する執行率は 95.0% である。

支出済額の主なものは、総務費 5,252,663 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	62,007	332	62,339	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有、大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,879,107	△ 9,027,626	14,851,481
有 価 証 券	10,000,000	10,000,000	20,000,000
合 計	33,879,107	972,374	34,851,481

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努め、持続的な運営を図られたい。

令和 7 年 度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決 算 審 査 意 見 書

長野市監査委員

8 監査第42号
令和 8 年 8 月 31 日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 荻 原 健 司 様

長野市監査委員	下 平 嗣
同	川 上 馨
同	寺 沢 さゆり
同	北 沢 哲 也

令和 7 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 7 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の種類	7
第 2	審査の対象	7
第 3	審査の着眼点	7
第 4	審査の実施内容	7
第 5	審査の結果	7
1	決算の概況	8
2	財産に関する調書	9
3	意 見	9

(注) 比率(%)及び構成比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和 7 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の種類

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づいた決算審査で、令和 8 年 6 月 30 日から 8 月 24 日までの間、長野市監査基準に準拠して審査を実施した。

第 2 審査の対象

1 令和 7 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会実務ガイドライン「監査の着眼点」を踏まえ、法令に定められた決算書類相互の計数が一致しているか、また、事業は効率的に行われているかを審査の着眼点とした。

第 4 審査の実施内容

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 5 審査の結果

前記の方法により審査した限り、その重要な点において決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められた。

決算の概要及び意見は以下のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,512,364 円に対する歳出決算額は 1,889,021 円で、歳入歳出差引残額 623,343 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率・収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,947,000	1,957,903	1,957,903	0	0	100.6	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	551,000	551,864	551,864	0	0	100.2	100.0
諸収入	2,000	2,597	2,597	0	0	129.9	100.0
合 計	2,501,000	2,512,364	2,512,364	0	0	100.5	100.0
6 年度	4,173,000	3,701,270	3,701,270	0	0	88.7	100.0
比較増減	△1,672,000	△1,188,906	△1,188,906	0	0	11.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	59.9	67.9	67.9	—	—	—	—

収入済額は 2,512,364 円で、調定額に対する収納率は 100.0% である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,957,903 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	297,000	173,420	0	123,580	58.4
総 務 費	2,004,000	1,715,601	0	288,399	85.6
予 備 費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	2,501,000	1,889,021	0	611,979	75.5
6 年度	4,173,000	3,149,406	0	1,023,594	75.5
比較増減	△1,672,000	△1,260,385	0	△411,615	0.0ポイント
前年度対比	59.9	60.0	—	59.8	—

支出済額は 1,889,021 円で、予算現額に対する執行率は 75.5% である。

支出済額の主なものは、総務費 1,715,601 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	62,007	332	62,339	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有、信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,260,000	358,000	6,618,000

3 意 見

財産区の公有財産である山林について、引き続き適切に管理されたい。

また、財産区について地域の関係者の理解と協力が得られるよう努め、持続的な運営を図られたい。